

GOVERNMENT
『Refresh!!』
OF
DOGS
コントライブ
台本 故林広志

リフレッシュオープンング

街の雑踏音が重なり不快なぐらい大きく、途切れ静寂。

明るく(夕焼けの街)。

客席正面に向かいつつ、背後を振り返る姿勢の男(静止)。

男(声)

自販機に行こうとしただけなのに。

デカビタを買いに行こうとしてるだけなのに。

見てしまった。

穏やかな夕暮れ、ひと気無い静かなポプラ並木で
女の人が酔っぱらいに絡まれている。

それはそれは物凄く絡まれている。

AVの撮影の一部のようだ。

助けるべきだろうか。

僕はただ自販機に行こうと部屋を出ただけなのに。

誰か通りかからないだろうか。

正義感の強い人が通りかからないだろうか。

僕は生まれつき正義感が持てない体なんだ。

それに絡んでいる男の顔、凶暴だ。

絵にも描けない恐ろしさ。

酒灼けした胸元から覗くアクセサリが光る。

どうしよう。

如何せん一人だし。一人で何かが出来るわけではない。

もう少し、もう少し人数がいてくれれば・・・

助けに行こうか。それとも・・・

我が身の安全を重視するなら、ここで見て見ぬ振り
をすればいい。

自分の中の正義に従うなら飛び出して行って助ける
べきだ。しかしそれは危険だ。迷う。ああ迷う。

ただ自分の中の正義に従うのなら助けに行かないと。

そう、今すぐ助けに行くんだ！

あ、私の中の正義だ。

こんにちは。

こんにちは。

男だろう、今すぐ女の人を助けに行くんだ！

やっぱり。

正義(声)

男(声)

正義(声)

男(声)

正義(声)

男(声)

正義（声） ただ、安全重視なら見て見ぬ振りをすればいい。

男（声）

・ ・ ・

正義（声）

いや、助けに行くんだ！

男（声）

今ちよろっと

悪（声）

何かっこつけてんだよー。

男（声）

俺の中の悪！

悪（声）

こんにちは。

男（声）

こんにちは。

悪（声）

かっこなんかつけず、ここで暴行を見物してりゃいいんだ。

男（声）

そ、そんなひどい。

悪（声）

ひっひっひ・ ・ ・ただ、助けたいと思うなら助けるべきだけどなあ。

男（声）

え？

正義（声）

助けに行くんだ、見て見ぬ振りをしてもいいが。

男（声）

あんた正義なんだろう？

悪（声）

見て見ぬ振りもできるが助けるべきかも。

男（声）

正義と悪それぞれが

悪（声）

どうしよう。

正義（声）

うーん

男（声）

それぞれまた迷っている！

正義（声）

助けに行け、あ、いや

悪（声）

そもそも何をもって悪とか正義とか

男（声）

どちらかに支配されたい！ああ・ ・ ・

迷い（声）

どうしよう！

男（声）

お、お前は？

迷い（声）

お前の中の迷いだ。

男（声）

そんな、そんな奴いなくていい！

迷い（声）

こんにちは、いやこんばんはか、迷う時間帯。

正義（声）

助けにいくべきかー

悪（声）

見て見ぬ振りかー

迷い（声）

迷う。

男（声）

意味無い！お前らの意味が限り無く無い！

おばはん（声）

そんなこと言うもんやあらへん。

男（声）

今のは？

おばちゃん（声）

いやーよう言わんわ、忘れたんか？木屋町のお

ばちゃんやないの。知らんとは言わさへんで。

男（声） 知ってる、知ってるけど

おばちゃん（声） よかったーほなら図書券あげるさかい

男（声） なんで木屋町のおばちゃんが私の中にいるんだ!?

おばちゃん（声） あきまへんのか？

四人の姿が意外な所に（それぞれ手にマイク、影で言っていた態）。

おばちゃんはスーパーにばっかしおるもんやないで、
あんた自身の中にもおる。あんたの中で図書券渡す
言うてますのや。（図書券を出し笑み、ヒーローキヤ
ラに）待たせたな。

男 これだけ人数いれば

正義 助けられる。

悪 行くぞ。

五人、上手袖に闊歩していく。ややあって五人、「怖い、人数の問題じゃない」と口々に言いながら下手へ逃げ去る。

暗転。OP映像。

冤罪漫画

弁護士事務所。無実を説明に来ている被告と友人が座り、緊張。

友人 (書類を見ている) お前を守ってくれたんだよな。

(間) ジョンソンさん。

被告 そうなんだ。

友人とお前が揉み合っている間に入って・

ああ・

すると学生が鉄パイプで (鉄パイプを出して再現)

田中さんを殴った。

ああ。

そこでお前は学生から鉄パイプを取り上げ

(友人から鉄パイプを取り上げる)

同時に田中さんは警察を呼びに行こうと駆け

出したでやんす。

(友人を鋭く見る)

だよな。

ああ。

通りに飛び出した田中さんは運悪く車に接触

して転倒、頭を強打した。

そう。

確かにその時鉄パイプを持っていたのはお前だった、

でもジョンソンさんは自ら飛び出して転倒したぶあ

い!

(頭を抱える)

(被告に迫る) 木原、お前は殺人なんてやってない、

無罪になるって・今まで数々の冤罪事件を解決し

てきた嶋先生なんだ、きつとわかってもらえる。

しかしさっきからお前の言葉が

何言ってるんだ!

まあ・

しっかりするのら!

(友人を鋭く見る)

お前がしっかりしないで一体どうするのら!

(驚愕) お前

被告

友人

友人 (被告の両肩を掴み) お前は無実なんだじょー！

被告 (わなわな立ち上がり) お前お前

友人 (手を放し)・・・何

被告 やっぱり呪いだ。

友人 なんだよ？

被告 ・・・

友人 なんだよ呪いって？

被告 (座る)・・・あのアパートは以前、若いギャグ漫画家たちが共同生活をしていた曰く付きの場所で

友人 (座る) ああ、それが

被告 彼らの魂がギャグワールドを汚されたと怒っているのか、事件を説明する僕らの会話が所々・・・ギャグ漫画になってる気がするんだ。

友人 (長めの間、真顔で) ほよ？

被告 お前が意外に思うのも当然だ、しかしさっきからここぞというところで言葉が

友人 (繕い笑い) そんなバカなことがあるわけ・・・

被告 (虚ろ) ないっちゃ・・・

被告 しかし実際言葉が(悔しげに膝を叩き)ギャグ漫画っぽくなるのだべー。

友人 (被告を鋭く見て) 嘘なのら！絶対嘘なのら！

被告 そうだとすると無実の立証も(袖を見る) 嶋先生！

弁護士登場、
実直そうだ。

弁護士 (立ち) こんにちは。

被告 (立ち) こんにちは！

友人 こにやにやちは！

被告 (打ち消そうと大きく) こんにちは！

弁護士 (圧倒されつつ) お待たせしました。

被告 あ、お座り下さい。(座る)

被告・友人 (緊張の様子で座る)

弁護士 (友人を指し) こちらがお話しされていたお友達

被告 ええ、高見沢です。

友人 (熱く) 願います、こいつ

被告 (制して) お忙しい所すみません。

弁護士

いえ。

被告

よろしく願います。

友人

願います。

弁護士

(短い間) その、亡くなった田中さんですが、

被告

頭部の打撲が致命傷だったようですね。

被告

そうですね。

弁護士

君に不利な証言もあるようですが、慎重に、しかし誠実な態度で真実を立証していきましょう。(書類を出す)

被告

ええ。

弁護士

(被告に顔を近づき) 事実をおっしゃって頂いて、状況が正確に把握できれば、無罪になる可能性は高い、いや無罪にしてみせます！

被告

願います。

弁護士

(友人に) 協力して下さい。

友人

え、ええ！勿論。

被告

署名を集めてくれて

弁護士

ほう。

友人

(署名を弁護士の前に) たくさんの方が不当逮捕に

弁護士

反対する署名をしてくれました。

友人

(頷いて理解を示している)

学校の先生や地域の人たち、それにクラスのマドンナ、あとそう、ガリ勉君も協力してくれて。

被告

ガリ勉君？

友人

ん？ガリ勉君なんて言ったか？

被告

(弁護士に) すみません、ちょっと・・・でも番長が

友人

番長？

被告

ん？番長なんて言ったか

友人

(弁護士に) すみません

弁護士

いえ。

友人

でも番長が野原の土管の前で署名してくれたのは

被告

(被告を見る)。

被告・友人

嬉しかった。

弁護士

(微妙な間) 番長、ですか。

被告

それに犬や猫、そんな動物たちまでがペンを持って

(普通に笑って) 「協力するんだワン」なんて

友人

(感慨) 心強いよ。

弁護士

(間) 受け取っておきます(受け取る)。

友人

えー、率直に申しまして現段階では

被告

署名より、あれだよ(被告を促す)

友人

(頷き) 私たちなりに当日の様子を検証したんです。

友人

写真も何枚か(鞆から出す)

弁護士

警察が見落としてる事があるかもしれませんからね

友人

ええ。(写真を並べながら) 警官なんてパンパン拳銃

撃ちまくって「逮捕する〜」って言うてるだけです

から(苦笑)。

弁護士

(短い間) 多少大げさですがまあある意味

被告

(遮り写真を説明) これが現場のアップト前です。

弁護士

夜はほとんど人通りがありません。

友人

目撃者が少ないのがネックですね。

弁護士

でもこいつは人を殺したりできるような

友人

ええ、私も無実を信じています、ただ客観的事実を

弁護士

もってしか裁判は勝てません。

被告・友人

(自分の書類を出しつつ) 事件のあらましを確認して

弁護士

て行きましょう。(見ながら)

被告

(口々) 確認して行くのら／確認して行くじょー

友人

えー・・・(困惑を振り切り) 三月十六日午前二時頃、

被告

飯森三丁目にあるアパート「ねまき荘」の前を、木

友人

原和明さん、あなたが通りかかった。(慎重) 間違い

被告

ありませんね。

弁護士

(慎重) 間違いありません。

友人

アパートの入り口で喧嘩しているのを見て、急いで

被告

仲裁に入った。

友人

早く止めなきやって(漫画の駆け出す時の格好)・

被告

この格好で一回飛び上がってからぴゅーって走って

友人

いったんだよな。

被告

・・・ああ。

友人

(背後を指し) このへんに線が何本も横に入って

弁護士

うん・あなたの場合、若干話が見えづらいですね。

被告

あ、気を悪くしないで。

友人

(被告に) 喧嘩していたのはアパートの住人の和田

被告

という学生と・・・

被告 向かいに住んでいた会社員です。

弁護士 (書類を見て) 田中さん。えー調書によると
被告 待って下さい、その調書はデタラメ・・

弁護士 落ち着いて。

被告 (必死) 私が通りかかった時にはもうアパート入り
口に喧嘩のモクモクが・・

弁護士 (考え) 喧嘩のモクモクというと

被告 こんな煙みたいなのモクモクが大きくなったり小さく
なったり、そのモクモクから手や足が一瞬出ては引
っ込んでいたんです。

弁護士 ・・木原さん。

被告 はい？

弁護士 えーっと、近くで何か燃えていたのですか？

被告 (意外) なぜっ？

弁護士 今煙と・・

被告 学生とアメリカ人が掴み合いの喧嘩をしていただ
けですが。

友人 嶋先生？

弁護士 あ。すみません。で？

被告 ええ。で、私はやめるように言ったんですが、「引っ
込んでろ！」と怒鳴られ(興奮) カツとなって

友人 (落ち着かせようと) 木原

被告 額の横からシューッと煙を吹き出し、(オデコを指
し) ここに血管が浮き出てバツテンの形が。

弁護士 バツテンと言うと

被告 そしてこう叫んだんです。「引っ込んでろとはなんだ
ー！」って大口を開けて奥のどちらかがぶらぶら
くって・・のどちらにも怒った顔がちよっとなん
かあって(頭を抱える)

弁護士 木原さん。

被告 はい？

弁護士 若干ですが、若干面白い。

被告 わ、私は・・面白い話なんてしていません！

友人 今のどちらかに怒った顔と(思いとどまり) いえ
不謹慎では？

弁護士 すみません、気をつけます・・で？

被告 私もそのモクモクに。ピヨーンと飛び込み
 弁護士 待って下さい

被告 殴られた私を。ピヨ。ピヨという音と共に星が取り巻き
 弁護士 めっちゃ面白い。どういうことですか。

友人 ですから面白い話なんて（気づき）。ピヨ。ピヨと星？
 弁護士 （冷静に）意見陳述書に「被告は喧嘩のモクモクに
 ピヨーンと飛び込んで殴られ、ピヨ。ピヨと星が取り
 巻いた」などと書けません。

被告 そんなこと言うはずないじゃないですか・人一人
 死んでるんです！頭にワツカ浮かべてふわあ〜って
 飛んで行って

弁護士 （遮り）木原！今ワツカって！

被告 （落ち着き、悔しげ）・そんなことを言いましたか
 残念ながら。

被告 あの実は・信じて頂けないかもしれませんが

弁護士 （頷き）ギャグ漫画家の呪いですか？

被告 嶋先生？

友人 御存知で

弁護士 ねまき荘に住んでいた漫画家の靈魂が、この事件に
 関わる者の言葉をギャグ漫画的にしていると。

被告 そんなことをおっしゃっている人がいますね。

被告 そ、そうです。

弁護士 ふん・（考え）

友人 あの

弁護士 そういった話は迷信です。

被告 ええっ／あの

弁護士 あくまで事実を、現実的な話を取り上げるべきで、
 迷信なんかには振り回されてはならないのでござる。

被告・友人 （鋭く弁護士を見る）

弁護士 ニンニン。

友人 先生・

弁護士 続けましょう。

被告 （口々）続けるのら／続けるじょー

弁護士 （不快感を振り切り）喧嘩の仲裁に入ったつもりが

被告 逆に殴られてしまったあなたは

被告 え、ええ。

どうしましたか？
あの

面白味は要らないので事実をお話し下さい。
・(漫画的にならないよう慎重に) 学生の方が何を勘違いしたのか、私に「お前も俺をバカにするのか！」と、近くにあった鉄パイプを手に、近づいて来たんです。

友人

見境を無くしていたんだ！

弁護士

あの学生についてはこちらで調べておきます。

被告

余りの驚きに私の両目はスロットマシンのように色んなマークが上下に回転し・

弁護士

あの

チン！という音とともに口から・(悔しげに) お金がジャラジャラと

弁護士

(立ち) 真面目に話さないなら本件から降りますが

被告

(立ち) ああつ、すみません！

友人

(立ち) 呪いなんです！
ですから呪いなんて

弁護士

言葉の裏を、裏を汲み取って・

被告

法廷では弁明の際の態度が重要なのでござる！

弁護士

(格好良く歩きながら) 不真面目な印象を与えると

友人

有罪でござる！
先生御自身も

弁護士

(一際厳しく) ニンニン！

被告

ですから

弁護士

あなたみたいな語り口で公判に望んで御覧なさい、

被告

裁判は・裁判は大爆笑間違いないですよ！

被告

そんな(椅子に崩れ落ちる)

弁護士

(被告の肩に手を起き慰め) 不安なら不安で、本当

被告

の気持ち言葉をすればいいんです。

被告

ああああ

弁護士

言って御覧なさい。

被告

(悲壮) バケラッタ・

弁護士

(立ち) な、何をもってバケラッタと！弁護士に向

友人

かってバケラッタと！

友人

(土下座) 先生。木原はやってないんです。

弁護士

友人

弁護士

友人

弁護士

友人

弁護士

友人

弁護士

友人

弁護士

被告

弁護士

被告

友人

弁護士

被告・友人

弁護士

被告・友人

弁護士

被告・友人

被告・友人

暗転。

・
・
・

（より土下座）言葉がギャグ漫画的になろうと
君

ギャグ漫画的になろうと、私たちは信頼関係でつな
がっています！

なぜそこまで

どうか話を聞いてやって下さい。

まあ

そして無実の人間が不当な罰を受けなくていいよう
お願い・・・（涙で声にならない）

（頷いて感動）木原さん。

はい・・・

（座る）こんな・・・こんなに親身になってくれる
ともだちんこが居て幸せじゃないですか。

はい。

（涙声で意味不明な言葉）

（やや落ち着き）とにかくお話はお聞きしましょう。

ありがとうございます！

（座り）説明して下さい。

説明するのら／説明するじょー／シエー／ニヤロメ
死刑。

ぎゃふん。

天才番組

天才子供の番組開始直前。準備SE。椅子1。
下手に司会者板付き（手に台本と進行カード）。

司会者

（背後のスタッフに）秋の編成でどうなるか・
いや心配はしてないですけど・・

（台本に目を落とし）この視聴率が続けばね。

（スタッフに）あ、はい、水で結構です

なんとかかそうなれるよう頑張ります。

（喉をチエックしながら中央へ）

ディレクター（声） 天才子供入りまーす。

司会者

（練習）アインシュタインもエジソンも、あ、あ、

天才、上手から大人びた様子で（「お疲れさまです」を振りまく
など）入ってくる。

天才

（司会者に）お世話になります。

司会者

君が今日の

天才

ええ、天才児童の石毛裕太と申します。六歳二ヶ月
です。

司会者

裕太君。（近づき）宇宙博士らしいね。

天才

ははっ、まだまだ子供ですよ。

司会者

・・頼むよ。

天才

お互い普段の力を、あっ（スタッフに気づき促す）

スタッフ、紙コップ（水）を持ってくる。

司会者

（受け取り飲む）

天才

プロ意識！（などと小声を掛け座る）

司会者

（天才を振り返る）

天才

（頷く、余裕だ）

司会者

（紙コップを返す）これも（と台本も渡す）

スタッフ去る。

天才 そろそろほら、本番ですね。

司会者 え？

天才 緊張なさってますか？

司会者 いや、あはは

天才 あっはっはっは

司会者 裕太君こそ、リラックスして

天才 ありがとう。実は僕(手遊び開始)「どうしてそんな」
っていうぐらい緊張しないタイプでして

ディレクター(声) えーっとそろそろ

天才 (ちよっと緊張) 根が呑気というか

ディレクター(声) 本番入ります。

司会者 (目を閉じ集中)

天才 (手遊びの手が震え出す)

声 『天才子供ショー』。

天才 くかつ(緊張！)

一瞬あってテーマ音楽。意識が薄れていく天才。

司会者 みなさんこんばんは。アインシュタインもエジソン

天才 も、元を辿ればみな子供、ただし

司会者 (ガチガチ、既に呼吸がおぼつかない)

天才子供。今週も私、茂山直道がスーパー子供の世

司会者 界に御案内します。

天才 (司会者の後ろでゴソゴソ、速い深呼吸)

司会者 先週は天才でハーバード大学に入学した数学の天才
君を御紹介しましたが、今週はたった六才で大人顔
負けの宇宙博士、石毛裕太君をお迎えしています。

天才 (自分を落ち着かせてゆっくり立ち) よ、よ、宜し
くお願い申し上げます。

大拍手SE。

天才 (気圧される) 多い・・

司会者 いつもにまましてたくさんのギャラリー、(神妙)私も

この番組で遅咲きの花を咲かせることが出来ました。

天才 (そわそわし続ける)
司会者 それもこれも毎回期待を裏切らない(近づきながら)

天才子供のお陰!

天才 (ぎこちない笑顔) はいー

司会者 さ、裕太君。

天才 (ぎこちない笑顔) はいー

司会者 ウォーミングアップがてらちよつとしたクイズを。

(カードを見ながら) 太陽の表面にある、周りより
温度が低く、黒っぽく見える渦巻きは

天才 (頷いている)

司会者 为什么呢？

天才 (悩む)

司会者 (意外、やや焦る) 太陽の表面にある黒い渦巻き・

天才 (交互に笑顔と情けない顔) おこげ

司会者 違うね。(間、カメラに) 衝撃の実力はCMの後!

天才 (なんとか間に合わせようと) おこげ!

ジングル。

天才 (緊張解け座る)

司会者 (短い間) 黒点。

天才 (納得) ああー。およそ四千五百度で十一年おきに

増えたり減ったりする・

司会者 緊張した？

天才 いえ、大丈夫です。ははっ。(足を組む) そうですね

奥の客席は暗くて見えないんですね。

司会者 今日は特に百回目の放送ということでファンが詰め

かけていて。

天才 (そわそわ) はあ。

司会者 ここで20%取れたら私も独立できる・

天才 (顔色悪い)

ジングル。大拍手。

天才 (また急に緊張) 黒点! 黒点! 時間よ戻れ!

司会者 次行きます、次!

天才

(焦りすぎで聞き取れないが付け加える) おそ四千ひゃひやくどめひゅーいちねんぽっち

司会者

サービス精神も大人顔負けの裕太君、さてここから本領発揮してもらいましょう。

天才

(独自のリラックス呼吸法を行なう)

司会者

裕太君は学校でも宇宙博士って言われてるんですね。

天才

(リラックス成功) ええ、まあ。

司会者

みんなに教えてあげたり?

天才

んー、みんなにはまだ

司会者

早いかもね。では「天才子供にアスク」のコーナー。

ジングル。拍手。天才は緊張の波に負けないよう必死に呼吸法。

司会者

まず私たちに身近な太陽系の話から。裕太君の博識ぶりに驚かないでくださいよ。

天才

(表向き余裕) はは。

司会者

木星には全部で十二の衛星があります。

天才

ええ。

司会者

中でも大きな四つの衛星を挙げて下さい!裕太君には簡単なかな?

天才

その日の体調にもよる

司会者

(圧力) 簡単、かな?

天才

(余裕) はいー

司会者

では参りましょう、木星の四大惑星とは!

天才

まず、ガニメデ。

司会者

そう! (離れる)

天才

そしてカリウス。

司会者

凄い!

天才

そしてコンビニ。

司会者

裕太君! (天才の横に急ぐ)

天才

(素早く) あとATM。(呼吸法)

司会者

(裕太君を自分に向かせ) エウ

天才

エウ・・

司会者

ロパ

天才

ロパ・・

司会者

(頷く、「言え」と顎で指示)

天才 (頷く、「言え」と顎で指示)
 司会者 ・・エーウー
 天才 エーウー(虚ろに固まる)
 司会者 ・・ローパー
 天才 ローパー。(バカにするように指差し) ローパー
 司会者 ガニメデ、カリウス、エウロパそしてイオの四つが
 木星の四大衛星です。
 天才 (「言え」の仕草を真似たり)
 司会者 (圧力) さすが良く知ってます! (拍手要求)

最初だけ戸惑いがちだがやがて割れんばかりの拍手。

天才 (立場を思い出し緊張、更なる呼吸法)
 司会者 さ、リラックスしよう。
 天才 大丈夫です、あの(立ち、椅子後ろへ、戻って来て
 座る、意味無く苦み走った顔をしたりまとまらない
 行動の後、司会者を見上げるアホ面)
 司会者 さ!
 天才 は、はい!
 司会者 ではここで太陽から順に惑星の順番を言って切り抜
 けましょう!
 天才 (余裕というより気合い) はい。まず、太陽。
 司会者 确实!
 天才 水星。
 司会者 (頷く)
 天才 金星?
 司会者 (頷き笑う)
 天才 (笑う) そして(カメラを向き) 地球!
 司会者 ・・
 天才 (やり終えた感たっぷり座り直す)
 司会者 裕太君
 天才 あ、火星だ(照れて謝る、間)。あれっ木星はっ!?
 司会者 (緊迫、接近していく) いい滑り出しです。
 天才 (うっすら泣き顔、小声) おしっこ
 司会者 (遮り) 覚え方がありましたよね。
 天才 (虚ろに) す、すいきん、どしゃうど、パーティー

司会者
天才 (遮り) すいきんちかもく・・・ど。
ど。(黙りなぜか冷静)

司会者・天才 (間、視線合わせたまま) ど。

司会者 (天才の顔をカメラに無理やり向け) 土星。

天才 土星。

司会者 天王星。

天才 へえー(と割と明るく振り返る)。

司会者 ・ ・ ・

天才 ジュースありますか？

司会者 無い！太陽系は銀河系の一部。

天才 ジュースは、あるのでしょうか？

司会者 銀河系のお隣にはアンドロメダ星雲があります。

天才 CM行くのでしょうか。

司会者 (圧力) アンドロメダ。宇宙博士なら当然知ってて

天才 もらわないと(と近づく)。

司会者 ああ、知ってます(緊張高まる)。

天才 アンドロメダ星雲の

司会者 せいうん・・・

天才 直径は

司会者 う・・・

天才 どれくらいでしょう

司会者 どれくらい、どのくらい、はは、

天才 (諦め早く) 衝撃の実力はCMの後！

司会者 (被り) 三メートル半！

ジングル。

天才 (緊張解ける)

司会者 (頭を抱え) 直径・・・十光年。

天才 (納得) ああー、一光年とは光が一年かかって進む

司会者 距離ですね。

天才 (短い間、理解) 緊張すると裕太君は

司会者 うん・・・

天才 このままだと番組開始来初の・・・

司会者 視聴率の話ですか？

司会者 大したことない子供を紹介したことになる。

司会者、メモを捨てる。スタッフ慌てて拾い退場。
ジングル。拍手。

天才 十万光年！十万光年！宇宙！

司会者 もういい

天才 ジュースありますか！

司会者 さあ！

天才 さあ！

司会者 裕太君、問題はどんどん簡単になっていくよー。

天才 恐れ入ります。

司会者 太陽に月が重なって、昼間なのに暗くなってしまっ

天才 北極！

司会者 現象を

天才 ああ南極、北極！

司会者 問題変えよう。夜空にキラキラ光るものは

天才 それも北極！

司会者 大体わかった、じゃあ、地球の北の端にあるのは

天才 わかりません！

司会者 (カードを捨てる)

天才 イオ！

司会者 裕太君が天才と呼ばれるゆえんは、宇宙の知識だけでは計れません。番組前に裕太君は私になんと言ったでしょう。「お疲れさまですー！」と

天才 (純真)

司会者 大人でもあれだけしっかりした挨拶は出来ません。彼はまだ六才、緊張して見境が無くなってもおおしくない年令です。

天才 (殊勝)

司会者 しかしそれが純真な子供らしさ。裕太君は私たちがいつしか忘れてしまった、純真さを思い出させてくれるのです。

天才 ギャラはありますか！ギャラは！

司会者 (遮り) また来週っ！(スタッフに合図)

エンディングテーマ曲。

ディレクター（声） お疲れ様でしたー。

司会者 （落ち込んでいる）

天才 お疲れになったでしょう。

（短い間） タクシーチケット頂けますでしょうか

司会者 （遮り） 無い。

暗転。

祝賀会

「おめでとう！向田信一郎君」の垂れ幕。開催前の祝賀会会場。飾り付けをしている旧友。フェンシングの衣装の優勝男登場。

旧友 シンちゃん！

優勝男 ノブ！

旧友 久しぶりだなー

優勝男 変わってないな！

旧友 変わってないよ。俺は。

優勝男 俺だって

旧友 シンちゃんは変わったじゃないか。

優勝男 え？

旧友 「勝者」になっただろ。

優勝男 勝者？（わかって）ああ、あはは

旧友 おめでとう。

優勝男 （誇らしげ）ありがとう。

旧友 （感慨）良くやったよ。

優勝男 大げさな。でも、まあ（誇らしげ）快拳だけど。

旧友 快拳だよ、小学校時代から頑張ってきたもんな。

旧友 変わり者って言われても続けたもんな。

優勝男 （達成感、一点を見つめる）

旧友 フェンシング。

優勝男 ・・この格好でよかったんだよな？

旧友 もちろん。

優勝男 家からそれで来るとは思わなかったけど。

旧友 そこはせっかくだし。（視線に気づき）何？

旧友 いや、剣を持ってないとどういうことかわからない

優勝男 な、その姿。

優勝男 剣って言うな。エペだ。

旧友 ごめん。でもホント良かったな。おめでとう。

優勝男 ホントありがとう。もう何年も会ってないのにこんな祝賀会、企画してくれて。

旧友 当然だろ、この町出身者が優勝したんだから。

優勝男 そりゃめでたいことだろうけど。

旧友 ただの優勝じゃない。（短い間）香川一だ。

優勝男 (フェンシングの動き) まだ満足はしてないけど。

旧友 (感嘆) おお?!

優勝男 (決めの動き) 四国一になってやる。
なれるよ。

優勝男 ま、仕事もあるし、いつまで続けられるかわからな

いけど。

旧友 (近づき神妙に) 今日はお前をねぎらいたいんだ。

優勝男 ノブ・・

旧友 久々にみんな集まる。

優勝男 俺なんかのために

旧友 (愛情深い笑い)

優勝男 友達もいない、変わり者だったのに。

旧友 そんなことないよ。

優勝男 いるかいにかわかんない奴だったのに。

旧友 でも今や成功してこんなに

旧友の携帯が鳴る。優勝男は感動の余韻。

旧友 (出る) はい・・おお・・四時。うん。四時から。

了解。(優勝男を見て) うん、もう来てる。

じゃあな、また。(切る)

誰?

中川だよ。

優勝男 え?中川も来てくれるの?

旧友 シンちゃんがこんなにめでたいことになってるんだ、
みんな来るに決まってるだろ。四組の奴以外も御祝
いに来るから。

(嬉しい) えーっ

気の効いた挨拶でも考えとけよ。

そうだな。

(神妙) 今日は盛り上がるう。

(感慨) ありがとうノブ。

支店長になった俺に任せろ。な!

うん!

うん!

・・・・

優勝男

旧友

旧友

優勝男

優勝男

(少し考え) フェンシングで香川一になったのはやっぱり凄いことなのかな？

旧友

何言ってるんだよ、凄いよ。

優勝男

行政書士とかそういう

旧友

(神妙)「香川一突き刺す男」を目に焼き付けたい。

優勝男

ノブ・・

旧友

来年ブルックリン支店に配属されるから。

優勝男

ヘッドハンティング？

旧友

(頷き) ニューヨークだよ。

優勝男

(満を持して) どうもありがとう

旧友

(被って) ありがとうを言うのは俺だよな。今日。

優勝男

・・そうだけど？

旧友

「ありがとう」って・・いや、感謝をさ、しないと。

優勝男

それでこそ祝われる男だ。

旧友

今だにスネをかじらせてもらってる両親にも感謝を

優勝男

偉い！嫁さんにも聞かせてやりたい言葉だ。

旧友

うん？

優勝男

(表情輝き) お前ついに結婚したんだ！

旧友

うん、昨日。

優勝男

昨日?! (もう喜び一色)

旧友

十一年越しの恋を実らせて。

優勝男

(つい涙ぐみ) よかったー、おめでとう。

旧友

俺のことはいいよ。

優勝男

でも！

旧友

シンちゃんが(面倒そう)そのなんか香川一になっ

優勝男

たやつを祝わないと

旧友

ま、待ってくれ。

優勝男

さくっと

旧友

少し面倒臭くなってるかい？

優勝男

そんなことないよ、疲れてるだけだよ。

旧友

疲れ？

優勝男

ゆうべ出産に立ち会って

旧友

妊娠十ヶ月の出来ちゃった婚！

優勝男

一気に夫で父親。

優勝男

ダブルでおめ(思いとどまり)・・いや

旧友 子供の名前なんだけど（相談の気配）

優勝男 （苦悶）どうしてもお前を祝う流れに・・・
旧友 どうした？

優勝男

（離れ）俺の祝賀会なのに・・・ずっと「チャンバラマン」とか「真っ白君」とかバカにされてきた俺の、
一世一代の祝賀会なのに・・・

旧友

優勝男

（短い間）心の声のつもりか？
え？

旧友

今のは心の声のつもりかって言っただよ。

優勝男

こ、声に出ってた？

旧友

ああ、とびつきり説明的にな。

何言っただよ、確かに俺もめでたいかもしれない、
でも今日はお前の祝賀会、みんなわきまえてる。

お前以外に祝福される奴はいないよ。

旧友の携帯鳴る。

旧友

（出る）おお・・・遅れそう？（優勝男に）中川。

優勝男

（電話に）ああ（笑う）いいよ電話でも。（相手の言葉
を改まって聞いて）ありがとな

おめでとぅって言われたな！お前の何かにおめでと
うと！

旧友

（電話に）シンちゃんが居るんだけど、ああ、いい？

優勝男

じゃあ。（切る）

優勝男

なんで換わらないんだ！今日は俺が

旧友

シンちゃんの祝賀会だよ。

優勝男

なら・・・ならなんで（垂れ幕の一番下を指して）

旧友

「おめでとぅー！向田信一郎君も」って書いてある！？

旧友

（そう言えば小さく「も」と書いてある）

優勝男

（「も」を凝視）

旧友

俺だけこんな、後戻り出来ない格好させといて。

旧友

だからお前を祝う会だって！ちゃんとみんなにそう

言ってるから。垂れ幕はちゃんと、下だけに折っ
とくから。

優勝男

き、切れよ！どつせなら！

旧友

わかったよ、でもみんなお前を祝うつもりで来るん

優勝男
だから挨拶は考えといてくれて。ほ、本当だろうな。

旧友
本当だよ。

優勝男
挨拶でなんとか「俺のめでたい所」をアピールしないと・・・

旧友
（少し嘲笑）「めでたい所」って言うとなんか変に聞こえるな

優勝男
他に言いようないだろ。（ぷりぷり）考えよう。

旧友
（考え）そうだ、栄光までの苦労話もするべきかな。

優勝男
うん（間）ああ、俺の？

旧友
俺のだよ！

優勝男
（聞かず）苦労を知らしめる所に真の祝福がある。

旧友
（怒ったまま）かっこいいっ！

優勝男
俺の場合は肺癌の克服。

旧友
（思わぬ声が出た）はあっっっ！

優勝男
なんとかな

旧友
（旧友の手を握り）よかった、よかったよ・・・

優勝男
（そのまま悩む）どうしよう・・・

他の旧友123
（袖から）（口々に）シンちゃん！

優勝男
？（袖を見る）

旧友
（振り向く）

優勝男
みんな！

旧友たちドヤドヤと入って来る。

旧友123
（優勝男をもみくちゃに）シンちゃんやったな！シンちゃんおめでとー！

旧友
（離れて見守る）

優勝男
ありがとうありがと・・・

旧友
神田、西、早見、今日はシンちゃんを

旧友1
お前記憶が戻ったんだ！

旧友23
（旧友に押し寄せ口々に）おめでとーおめでとー・・・

旧友2
一時的だったんだ、

旧友3
一時的な記憶喪失だったんだ、

旧友
お陰で晴れて支店長さー

優勝男、退場。

旧友 1 2 3 胴上げだ！

旧友 (もみくちやにされつつ) 幸せ！幸せ！

優勝男、上着を持って出て来る。羽織る。気づく旧友たち。

旧友 シンちゃん？

優勝男 (平静) この格好、結構寒いんですよ。

暗転。

セブンスリー

中央サス、落胆男が座っている。被害者インタビューふう。

落胆男

（町中の楽しい話題を少し）

私にはそんなふうに楽しむ事は許されていません。

私は愚かしい行為をしてしまったのです。

自分の欲望を抑えられずに・・

ああ、あの日さえ無かったら。

あれは去年の年末、私は会社で残業を終え、いつものように最終に近い電車に乗り込みました。

車内は混んでいました・・

私は戸口付近に立ち、ぼんやりと車窓を眺めながら、上司の事や出世していく同僚のことを考えていました。その時気づいたのです。私のわずか数センチ前、少し手を伸ばせば触れられる所にそれがあることを。柔らかなくも張りのある質感、丸みを帯びたカーブ・無意識に、私の手は無意識に伸び、その（特に悔いる）七三分けを撫でていたのです！

いけないことと知りながら、でも誰も見ていないじゃないかと私は・・七三分けを撫で続けました。

「減るもんじゃないんだから」と。

相手のおっさんだって、撫でられて悪い気はしないだろう・・そんな事を頭に去来させながら・・七三分けをいたずらに六四にしては七三に戻すなど意地悪な指使い。

甘美なブラバスの香り・・

私の欲望はもう止まりませんでした。

だってしばらく触っていなかったものだから。

そうこうするうちみるみる浮き上がっていく分け目の線。

アメリカ映画に出て来る日本人のようになっていくおっさんの顔。

耳元で「これ以上分けられないよ」と囁きながら。

私の生い立ちを紹介しよう。

私は母一人、子一人の家庭で育ちました。だからでしょうか、幼い時から父親の存在に憧れておりました。

小学五年生の夏休みです・・いとこのお兄ちゃんが遊びにきた事がありました。当時中学生だったお兄ちゃんはとても大人に見え、その大人びた雰囲気を出していたのが・「BASEBALL」というロゴが入ったボーダーのTシャツに釣り合わない七三分けでした。

私の胸にざわめきが駆け抜ける。

「お兄ちゃんの髪型・・おっさんみたい」

以来私は七三分けに対し特別な感情を持つようになりました。恋と呼んでもいいかもしれない。しかしホモではない私が好きになるのは女子。絶対女子。

(まくしたてる) 女子で七三分けは居ない。昔の和田アキ子がちょっとそんな感じだけど和田アキ子自体女子の概念から外れる。そこで私はアイドルの写真に七三分け髪型を貼るなど独特なアイコラを試してみたが今イチ。そう、私はおっさんの七三分けが好き、七と三というあの危ういバランス、片手で整えられる三の方の素直さ、そして少し眉に掛かる七の危うさ。

ほう。

埼京線の長い駅間隔に守られながら、私は恍惚と見知らぬおっさんの七三分けを愛撫していました。

しかし夢は永くは続きません。やがて、赤羽にさしかかった頃でしょうか・・そのおっさんがこう呟いたのです。ゆっくり顔を上げ、私の目を覗き込んで呟いたのです。

「意味が分からない」

ああっ・・私はなんてことを・・出来心だったのです！つい目の前に七三分けがあったから、それだけなのです！

瞬く間にそのおっさんは私の右手首を掴んで掲げこう言いました「この人、私の髪を分けましたっ」

見事なまでの「呆気」に取られる周りの乗客。大声を上げた手前、私を駅員に突き出さざるをえないおっさん自身も自分が何をしているのか今ひとつわからない。気づくと私は駅員室に座らされていました。警察の方を前に。

反省と謝罪をひたすら続ける私に警察の方は狐にままれたような顔をしていましたが、やがて調書を取るのをやめ、今後こういう意味の分からないことをやらないように話をまとめ始めました。そこで終わればまだ良かったのです。こんな事態は避けられたのです。

あろうことか私は・・・その警察官の髪を撫で始めたのです。そう、彼の髪は韓流スターを思わせる七三分け、警官という制服姿も手伝って私は何もかも忘れ、獣のように七三分けを撫で、触り、そして分けた！分けた！分けた・・・

私の行為は公務執行妨害と取られ・・・
今私は留置所の中で囚人たちに囲まれた生活をして
います。

今日弁護士と接見をしました。
私が有罪になるのかそれとも無罪なのか、弁護士の先生の考えをお聞きした時・・・それは運命のいたずらだと思えませんでした。
私が無罪になる割合は・・・七対三だそうです。

暗転。

親友ホテル

ホテルのフロント。トランクを持った客、無人なのでベルを鳴らす。

客 (重役的) すみません・・・いらっしやいませんか。

なんどもベルを鳴らした挙げ句、礼儀正しそうなフロント登場。

フロント (親しげに右手を上げ) やあ。

客 ……?

フロント (丁寧) 御利用、誠にありがとうございます。

客 あ、ええ。

フロントらしく(御宿泊でございますね。

客 (疲れている) いや、予約した者ですが・・・少し到着が早くなりまして

フロント (帳簿を出しつつ) だよねえ。

客 ……

フロント 下の御名前をお願い致します。

客 ……え、下?

フロント ええ。

客 ……雅彦ですが。

フロント (帳簿を見ながら) マサヒコ、マサヒコ・・・

(色んなパターンで呟く) おお、マサヒコ。ホント

かよマサヒコ。(怒って) マサヒコ!..

下の名前を連呼されるとなんか

客 (帳簿を閉じ) 違う帳簿のようです・・・(深々) 大変申し訳ございません。

客 いえ

フロント (別の帳簿を出し) こちらをお調べ致しますので今しばらく待ってくださいよ。

客 ……

フロント (帳簿を見ながら) マサヒコ・・・(見つけ) ございました。が、マサヒコは九人もいらっしやいます、

よろしければ上の御名前を

客 ……田辺ですが

フロント はい。御客様は「田辺雅彦さん」でいらっしやいま

すね。

客　　そ、そうです。

フロント　元気だった？

客　　・・えー初対面ですよ

フロント　もちろん初対面でございます。(帳簿を見て) シング
ルのお部屋でございますね。なるほど、早く一人に
なって気楽にお休みになりたい。

客　　・・ええ。

フロント　ふふ、わかってるって。

客　　(たまらず) あの一

フロント　(心底心配) い、いかがなさいました？

客　　いえ、いいです

フロント　(呆れ) いいのかよ。(吐息混じり) マサヒコかー

(帳簿を見せ) 御確認ですが、こちらの御予約の方
でよろしいでしょうか？

客　　(見て) ええ、二泊の予定、それです。

フロント　いっちょまえな

客　　なぜ

フロント　(すぐ) 一体全体いかがなさいました？

客　　なぜ時折、馴れ馴れしくなるのでしょうか？

フロント　馴れ馴れしいと申しますと？お客様？

客　　いや、だから・・(苛つく)

フロント　(フロントの肩を叩く)

客　　(フロントの手を掴み) これです。

フロント　(小声で) 放してっっ

客　　今「言えよー」って言いましたね？

フロント　困ります、お客様。

客　　(手を放す) ここはホテル、私客なんです、あなた
フロントでしょ？ちゃんとした礼儀でもてなすのが
あなたの仕事じゃないんですか。

フロント　(うなだれ) やや馴れ馴れしいことを申し上げたか
もしれませんしかし：これだけはわかって下さい。

客　　なんですか。

客　　無意識なのです。

フロント　(大いに驚く) 無意識！！

フロント　先代の社長の従業員教育のせいです。無意識に所々

馴れ馴れしくなる・・・(額を片手で覆い)体に染み付いてしまつて

客 先代の方針・・・

客 フロント (恐縮)御気分を害されたかと、御気分を
客 フロント そこまで恐縮されるほどじゃ

客 フロント お詫び致します。

客 フロント まあ

客 フロント わりい(深々お辞儀)。

客 フロント ・・・・

客 フロント (気づきうなだれ)また出ましたか・・・

客 フロント そこまで無意識・・・

客 フロント 以後気をつけさせて頂きますので、何卒御容赦願
客 フロント います(深々)。

客 フロント 悪意が無いのならこちらもそのつもりで
客 フロント その調子だ!(と客を叩く)

客 フロント ・・・・(仕方なく立て直し)部屋の方は
客 フロント ああつ、失礼致しました、204号室になります。

客 フロント 散らかつてるけど。

客 フロント ちよ、ちよっと

客 フロント ルームキーは郵便受けの裏にセロテープで貼つて
客 フロント ございますので勝手に開けて入ってもらつていいよ

客 フロント 友達の下宿みたいに

客 フロント チェックアウトは十一時となっております。

客 フロント あ、はい

客 フロント 御退出される際はルームキーを郵便受けに貼つて

客 フロント (遮り)郵便受けつてのがあるんですね?そもそも
客 フロント ・・御心配でしたらキーを御預かり致しますが

客 フロント すみませんがそうして下さい。

客 フロント やだねー。うそおー。御入浴の際は各部屋の内風呂
客 フロント に加え、八階に大浴場の方がございますのでどちら

客 フロント でも「もらい湯」が可能です。

客 フロント やっぱりちよっと

客 フロント はい、いかなさいました?

客 フロント 戸惑いますねー。そんな「もらい湯」って

客 フロント (溜め息、間)変わらないな。

客 フロント (不快あらわ)私の何を知つてる。

フロント
（なぜか強い口調で）とにかく、お風呂上がりには私が切れなくなったTシャツがあるんで良ければあ、あのいいですか。

客
フロント
おっしゃって下さい、何かお気づきの点がございましたら

客
正直その

フロント
なんでも言い合ってきた仲じゃないですか。

客
・・・(落胆)

フロント
水臭い！

客
距離が

フロント
距離がいかがなさったのが言えよ。言えよお手数お

客
掛けしますが来いよ。

客
あなたとの距離が

フロント
おっしゃれ田辺様！

客
遠くなったり近くなったり

フロント
マー君。失礼致しました、ママー君。

客
クラクラしそうです。

フロント
（優しく）お疲れなんですよ・・・お部屋でお休みになって下さいませ。（指を鳴らしてボーイを呼ぶ）

ボーイ、登場。

フロント
この方の荷物を。

ボーイ
かしこまりました、ジャンケン（仕草）

客
負けた方が持つとかじゃなく！

フロント・ボーイ
（深々）わりいわりい。

客
無条件で持って下さいね・・・

ボーイ
お持ちします（とホテルマンらしくトランクを持つ）。

客
あの

フロント
お先にお食事でしょうか？

客
いえ

ボーイ
レストランは最上階、ラウンジではワインフェアを

客
やっております。

客
ワイン

ボーイ
（深々）全てわたくしの飲みさしでございませう。

客
遠慮する。

フロント

地中海直送の海鮮料理、和牛、若鶏の腿肉、全てわたくしの食べ残しでございます。

客

食べ切りなさい！

フロント

しかしお腹が一杯

客

馴れ馴れしいにも程がある。

ボーイ

残しておいてあげたのに。

客

すいませんがキャンセルを。

フロント・ボーイ（愕然）え

客

こんな扱いを受ける覚えはありません、今すぐキャンセルを。

フロント

そんな・・（支配人を呼ぶ）支配人！支配人！

客

支配人なんて呼ぶ必要は無い。

支配人走って来て子供のように飛びつく。

支配人

お客さま、いかがなさいました？

客

（背中の支配人に）あなた支配人？

支配人

うん。

暗転。

ポジティブ 1

明るくなると小野崎が前向き笑顔、両手広げ立っている。会社内。
出社してきた社員1、入ってくる。

社員1 (小野崎に) おお、小野崎。

小野崎 (陽気に出迎え) おっはようー！

社員1 今日も早いな。

小野崎 当然だよ、朝一で出社、気持ちいいー！

今日も頑張ってる仕事しようなっ！

社員1、着席。満足そうに見送る小野崎。

社員2、入ってくる。

社員2 (普通に明るく) おはよう。

小野崎 (出迎え) どうした、からっきし元気ないなあ！

社員2 そ、そうか。今日も

小野崎 早いさ！早いはずさ！今日も頑張ろうな！

社員2着席。

小野崎、「どっした二日酔いかー！」と叫びながら出て行く。

小野崎と社員3、並び歩いて入ってくる。

小野崎 午前様か？午前様なのか？

社員3 (普通に元気) いや、飲みに行っていないよ。

小野崎 そうか、あっはははははははははは。ま、仕事頑張ろう！

社員3着席。

小野崎「仕事仕事！前向きに頑張ろう！」などと歌うように舞いながら社員1のデスクそばへ。

小野崎 (社員1に) さ、明るく元気にリズムカル！きつと

出来るさカリビアン！

(社員2のデスクそばへ) 勢いで乗り切るんだ、前

へ前へ！(パソコンを覗き込み) いい計算の仕方だ！

(社員3のデスクそばへ) おっとミスか！イージー

ミスか？大したこと無い、ドンマイドンマイ。
あっははははワッショイ！

社員1の電話が鳴る。

小野崎

(社員1のデスクに走りながら) ほら電話だっ！取れっ！

社員1

(受話器を取り電話応対)

小野崎

得意先からだ！(社員1の周りを回りながら) スキの無い対応！素晴らしいぞ！押せ押せ！押して今度は引け！引け引けへりくだれ！いいバランスだ。

外でクラクション、後方の窓へ走る小野崎。

小野崎

いいクラクションだ！ドライバーさん最高！

社員2

(社員3に) すみません、あの

小野崎

(社員2に回りながら駆け寄り) 用事が言ってみる！

社員2

(社員3に) 見積もりが出ました。

小野崎

(小躍り) やるね。

社員2

これです(書類を出す)。

小野崎

見てもらえ！課長に！(その場で回転)

声

彼は小野崎。ムードメイカー担当。

社員2

(社員1に渡す)

小野崎

よし！

声

仕事はしない。

暗転していく。

社員2

(小野崎に) あのー

小野崎

(びしゃりと) 触んなくて。

暗転。

SPたちの宴

部分的に明るく。居酒屋店内、中央にテーブルと椅子3。

西田入って来る。SP的スーツと緊迫の仕草。

(指定)が無い限り襟元のピンマイクに密やかに言葉を言う。

西田

(マイクに)こちら西田、念のために確認します。

(辺りをチェック)こちら西田、大丈夫そうです。

(チェック)問題無さそうです。(続行)

江尻入って来る。西田同様SP的スーツと緊迫の仕草。

江尻

(チェック)こちら江尻、問題無さそうです。(続行)

梶山入って来る。SP的スーツとより緊迫の仕草。
しばらく警戒しているが突然走るなど機敏な動き。

梶山

こちら梶山、気をつけて下さい。

(チェック)問題無さそうです。

西田

問題無いな。

江尻

元々問題の無い場所を警戒してるわけですから。

三人

(チェック姿勢のまま静止)

西田

(やおら立ち上がりマイクに)こちら西田、これか

ら「SP人間」の親睦会を始める。
(テーブル周りに後ろ手に直立)。

全体明るく、居酒屋SE。

江尻・梶山

(それぞれテーブル周りに後ろ手に直立)

西田

我々SP人間にとって大変貴重な、「打ち解け合う」

機会を、普段のようにこそこそせずに楽しもう！

江尻・梶山

(一瞬の間)了解しました。

西田

(緊迫の間)西田、テーブルに座ります。(と、自分

の座る椅子に歩み寄るが)

江尻・梶山

(西田の椅子に先回り、チェック)異常ありません。

西田

(改めて歩み寄るがその瞬間)

江尻 江尻、座ります。(と自分の椅子に歩み寄るが)
 梶山・西田 (江尻の椅子に先回り、チェック) 異常ありません。

江尻 (改めて歩み寄るがその瞬間)

梶山 梶山、座り

西田・江尻 (遮って梶山の椅子をチェック) 異常ありません。

三人座る。 店員登場。

店員 いらっしやいませー。

三人直立、店員を見据える。

店員 後ほど参ります。

店員退場。 緊迫してうろつき歩く三人。

西田 こちら西田、今のは誰だ(相変わらずマイクに)。

江尻 こちら江尻、店員さんかと思われませう。

西田 ・我々のSP的動きに、ぼんやりした不安を感じていたようだ。

梶山 こちら梶山、親睦会を遂行しましょう。

西田・江尻

ん？

梶山 確かに我々は動作全てが普段からSP的です、しかし今日はそれを忘れて

西田 のりのりでハメを外さないで。

梶山 そのためには(意志強固に)注文です。

西田 こちら西田、なに！

江尻 こちら江尻、注文？？

梶山 店員さんに注文をすれば宴が始まるかと思われませう。
 江尻 了解。江尻、動きます！

江尻袖へ、西田・梶山先回りしてチェックしながら三人退場。
 ややあつて三人帰って来てテーブル周りに直立。

江尻 男性の店員さんが座敷前にいました。

梶山 女性の店員さんが厨房脇にいました。

西田 よし。(緊迫の間、見直し)なぜ注文をしなかった?
 江尻 こちら江尻、なぜか
 梶山 こちら梶山、どうしても状況のチェックに終始して
 しまいます。

西田 こちら西田。了解。

梶山 (決断の間) ビールの人?!

西田 こちら西田、なに!

江尻 こちら江尻、ビールの人?!

梶山 (合点) 注文するドリンクを決めていませんでした。

西田 こちら西田、ほお。(納得)

梶山 ドリンクさえ決めれば。ビールの人?!

西田 こちら西田、カシスウーロンを。

江尻 こちら江尻、ウーロン茶を。

梶山 こちら梶山、二人とも飲めないんですか?

西田 こちら西田、いや

梶山 しかも「ビールの人」って訊いてるってのに。

西田 こちら西田、

江尻 こちら江尻、

西田・江尻 生ビールの中ジョッキ。

梶山 それでこそ飲み会。梶山、動きます!

梶山退場しようと、西田・江尻先回りしてチェック。三人退場。
 ややあって三人帰って来てテーブル周りに直立。

江尻 ジョッキ、十分ありました。

梶山 ビール、不足無くありました。

西田 なぜ注文しない?

江尻 こちら江尻、なぜか

梶山 こちら梶山、それはね

西田 (遮り) この「こちら誰々」ってのもやめないか?

江尻・梶山 (愕然)

江尻 しかし、こちら江尻

西田 だから

江尻 (考え) ハーイ、ボク江尻。

梶山 (江尻を指し) こういうことではないですよ。

西田 そう、言い方ではなく、フランクな会話では一々名

乗らないということだ。
なるほど。

江尻
西田 「こちら誰々」は省こう。

江尻・梶山
了解。

西田 ドリンクを注文しに行く。(見回す間) 動きます！

江尻・梶山 動きます！

三人、とにかく警戒しながら退場しよう

梶山 この調子だと！

西田・江尻 (口々に) どうした？

梶山 同じ過ちを繰り返しそうです。そもそも我々は何を

警戒しているのでしょうか？

護衛する要人もいないのに！

江尻 仕方ない、SP人間はSP的動きしかできないんだ

から！

梶山 一人で行きましょう。

一人？

西田 (苦渋の決断) わかった。一人で行こう。

(緊迫の間) ジャンケンだ。

西田・江尻・梶山 (輪になる)

江尻 江尻、グーを出します。

梶山 梶山、チョキを出します。

西田 西田、パー(気づき) 言ってしまったら意味が無い

じゃないか。

江尻・梶山 あっはっは(これもマイクに)

西田 笑い事じゃない！

江尻・梶山 すみません！

西田 (決断) 私が行こう。

江尻・梶山 え？

西田 私が警戒の素振りも見せず、自然に行って来る。

西田、ぎこちない鼻歌ときこちない動きで、自然を装い退場。

江尻・梶山 (口々に) きこちない。

袖内から

店員（声）　ただ今参ります。

江尻・梶山　（入り口に貼り付く）

店員入って来るがその歩みに先んじて西田が危険チェック。
江尻・梶山もそれぞれ危険チェックに合流。

店員　歩きにくいです。（テーブル脇に立つ）

西田・江尻・梶山　自ら盾になり、店員に背を向け直立）

店員　お飲み物は何になさいます？

西田　中ジョッキを。

江尻・梶山　同じものを。

店員　かしこまりました。

店員退場。イヤフォンを外し姿勢を正す三人。

西田　では親睦会を進める。

江尻　次は何を？

西田　うむ・打ち解け合うにはどうすれば

江尻　わからない・・・

梶山　（決断の間）血液型です！

西田・江尻　え？

梶山　血液型を言い合って打ち解けましょう。

西田　A。

江尻　A。

梶山　A B。

西田　（短い間）こんなことで打ち解けられるのか？

江尻　（苦惱）違います、確か・・・

梶山　「意外、見えな〜い」です。

西田　なんだそれは？

梶山　血液型を聞いたリアクションです。

西田　普段から驚かない訓練を積んでいる我々には難しいな。

江尻　クイズはどうでしょう？

梶山　そうです、クイズで盛り上がりましょう。

西田 了解、出してくれ。

江尻 では「上は洪水、下は大火事、これならんだ？」というクイズを出します。

西田 では「風呂」と答える。

江尻 (短い間) 上は洪水、下は大火事、これならんだ？

西田 風呂。(短い間) こんなことで盛り上がるのか？

江尻 (苦惱) 違います・・

梶山 どこか予定調和な印象でした。

西田 やむを得ん。

江尻・梶山 ？

西田 私が話そう。笑い話を。

江尻 えっ

梶山 笑い、話？

西田 「ハトが何か落としたよ、ふうん」という笑い話を話そう。

江尻・梶山 ・・了解。

西田 では始める。「ハトがあゝ

江尻 (苦惱) オチが・・

梶山 わかってしまってます。

西田・江尻・梶山、袖内に店員を見つけテキパキ退場。

店員、ビールジョッキを持って登場。周りを警護する三人。

西田 こちら西田、生ビールが運ばれて来ました。

江尻 こちら江尻、問題無さそうです。

梶山 こちら梶山、いい感じの店員さんです。(などなど)

店員 (警戒言葉を言われながら) うっとうしいです・・

うっとうしいです・・

(余りにひどいのでビールを置いて) うっとうしいって言ってんだろ！

西田・江尻・梶山 (驚き離れる)

店員 こんな田舎の居酒屋でSPなんて必要無いんだよ！

頼むから近づかないでくれ！

銃声。

店員

撃たれたっ（倒れ、死ぬ）

西田

（膝まづき遺体を確認）店を変えよう。

江尻・梶山

了解。

暗転。

ポジティブ2と6（メドレー）

●ポジティブ2

声 ムードメイカー小野崎。彼の影響力は恐ろしい勢いで波及していった。

下手サス。社員1・2が向かい合い立っている。

社員1 申し訳ないが来月も残業が増えそうだ。

社員2 ・・勘弁して下さいよ。

社員1 日付変わるまでほぼ毎日、手当も出せないが

社員2 今年に入って休み無しなんですよ。

小野崎、弾んで登場。前向きに。

社員2 来年も休み要りません！過労死できれば本望です！

社員1 どんどん訴えてくれ。慰謝料は大盤振る舞いしよう。

小野崎、満足の退場。社員3（手に巨大な紙）と共に帰ってくる。

社員3 無駄な拡大コピーが出来ました！

社員1 2 （社員3に駆け寄り歓喜）白い部分が多い！

小野崎 （満足笑顔で決めポーズ）

●ポジティブ3

上手サス。現場主任が座り込み、社員1が傍らに立っている。

現場主任

社員1 我が社製造のバイクにブレーキが利かないという欠陥が見つかった。相次ぐ事故はそのせいだったんだ。すみません。私、責任を取るため会社を辞めるので

現場主任は事実の隠蔽を・・

現場主任 （頭を抱え）私も会社には居られない、これからどう

うしていけば・・

小野崎、弾んで登場。

現場主任

会社を辞めたら一緒にプロゴルファーになろう。

社員1

同じことを考えていました！

社員2

ブレーキが利かないバイクですが、引き続き製造することになりました。

現場主任・社員1（社員2に駆け寄り）人気商品にしよう！

小野崎

（満足笑顔で決めポーズ）

●ポジティブ4

全体明るく。下手端に小野崎が座り週刊誌の袋とじを切っている。

現場主任・社員1・2が怒りの抗議で上手から登場。

現場主任（台詞は同時、重なりがち）小野崎！お前のせいで会社は

むちゃくちゃだ！

社員1

どうしてくれるんだ！お前が前向きにするから！

社員2

殴ってやる！殴ってやる！

小野崎に近づくにつれ

現場主任

むちゃくちゃな方が楽しい、ありがとう。

社員1

それもこれもみんなお前のお陰だ。

社員2

抱きしめたい！抱きしめたい！

現場主任・社員1・2 大好きだ！

小野崎

（週刊誌を見せようと掲げる）

社員たち

（笑顔で集まる）

●ポジティブ5

上手サス。社員3が元気無く座っている（診察室）。

社員3

先生、本当のことをおっしゃって下さい。

私、癌なんですよ？愛する者を置いて死んでいくん

でしょ？

小野崎、それなりに神妙な顔で社員3の傍らに。

社員3 (自信ありげ) ドラマ化できるでしょう。

小野崎 (「それだ」 っとばかりに弾む)

●ポジティブ5

下手サス。現場主任が醤油の瓶を掲げ立っている。

現場主任 醤油が無い・・どうしよう、ダシ巻きにかける醤油

が無い。

小野崎、真剣な表情で駆けつける。

現場主任 かけなくてもおいしいか。

小野崎 (大仕事だったかのように額の汗を拭う)

●ポジティブ6

現場主任・社員123が盛り上がっている。

現場主任 これからの人生、どうする……！？

社員1 独立します！

社員たち (盛り上がる)

社員2 ベンチャー時代だしね！

社員1 一発当てて瀬戸内に島を買っんだ！

現場主任 俺はなんでもいいからアメリカ進出する！

社員たち (盛り上がる)

社員3 あらゆる企業を買収してやる！

社員たち (口々に夢を叫ぶ)

背後に隠れていた小野崎が去っていく。

社員たち

社員1

社員2

暗転。

(落胆)

ツタヤ行きませんか？

面白いの、無いよ。

デザイナー

明るく。実況席。正面向いて座るアナウンサーと解説者。

アナ
夏の青空に恵まれました岐阜県立マヌラオ球場、男
山工業高校と男性大附属高校との地区大会決勝の模
様をお送りして行きます。

解説は元純情学園監督の金下さんです。

アナ
よろしくお願いします。

参加102校の頂点を決める試合、高校生らしい爽
やかな熱戦が期待できますね。

アナ
そうですね。

球児の純粹さをお伝えしていきたいと私たちも願っ
ています。

アナ
さて金下さん、この試合の見どころはどこでしょう。

アナ
やはり男山工業のエースの大河内君ですね。

アナ
ええ。

140キロを超える速球と落差有るフォーク。

アナ
はい。

アナ
そして時折混ぜる女子への意識。

（短い間）なるほど。どんなピッチング、そしてど
んな下心を見せてくれるのか注目です。対するは男
性大附属の強力打線。

アナ
はい、特に一番の風見君の四割近い打率と女子への
意識は注目です。

アナ
全体的には硬派でストイックな印象ですが
（遮り）二番の矢野君がどんな女子にもくらく、
しぶとさを備えていますからね。

アナ
こう見ると実力は互角ですね。

アナ
後は両監督がどう女子に受け入れられるか。

アナ
こればかりは・・・
年齢差に負けず、試合の中で「大人の包容力」を見
せてもらいたいですね。

アナ
ええ、間違ってもお金を介在させるなどして

球場の声援。

両チームが走り出て来ました。少し緊張した表情に「あの子見てくれてるかな」という意識が伺えます！

両チームの挨拶の声。

いよいよ熱戦の開始です！野手がそれぞれの守備位置に髪型を整えながら走って行きます！

投球練習を繰り返す。ピッチャー大河内。

投げるごとにユニフォームの着崩れを直しています。かなり女子を意識していますね。

アナ 解説
受けるキャッチャーの坂東、冷静なインサイドワークで。ピッチャー、そして女子をリードできる男です。

開始のサイレン。

主審の中沢さんの右手が上がり、それに応えて外野席の奥さんも手を振って試合開始！

ピッチャーの大河内、男性大附属のトップバッター風見に第一球、投げて着崩れを直す！見送って主審の右手が上がって外野席の奥さんも手を振ってストライク！

夫婦仲は最高なんじゃないでしょうか。

アナ 解説
見逃したバッターは「かっこ悪い」という意識で一杯です。

さあ第二球、投げて「かっこいいだろ」、バッターは空振りで「かっこ悪い」とそれぞれ意識！

一番の風見、早くも「ツーかっこ悪い」と追い込まれました。

いい所見せたいでしょうがね。

アナ 解説
男性大の監督がバットを短く持って「モテていけ」という指示を出しています。

この監督さん、高校時代モテましたからね。監督になつてからはセクハラが目立つようですが。

アナ 解説
「モテ選手必ずしもモテ監督にあらず」といった所でしょうか。

アナ 第三球、外角に外れてバッターのカウント「ツーかつこ悪いワンボール」。

解説 一球遊びましたね。

アナ 第四球、投げました・

カキン音。

アナ 打ちました！サード横っ飛び、良く取った！すぐ立ち上がってユニフォームの泥を払い落とし皺を伸ばしてから一塁へ送球・セーフ！

解説 身だしなみが裏目に出ましたね。

アナ 先頭バッターが塁に出ました！男性大附属、二番の矢野が打席に入ります。

解説 色んな作戦が考えられますよ。バント、ヒットエンドラン、ナンパ、ナンパエンドラン、そして電話番号交換エンドラン。

アナ その中でもココは一つ、高校生らしい手堅い作戦を見せてもらいたいですね。

解説 勿論です。

アナ 私たちも純粋な放送を心掛けましょう。

解説 はい。

アナ (慎んだ口調に)ピッチャー大河内、第一球を投げました。バントの構えから見送ってボール。

解説 冷静ですね。

アナ 第二球を投げました。ウイंक。ボールツー。

解説 ボールが先行しますね。

アナ 第三球を投げました。ストライク。ウイंक。シャイな表情。

解説 ランナーに気をつけないといけませんよ。

アナ 一塁に牽制球！おっしゃった通り牽制球を投げましたがランナー戻っています。こういう大河内君の「良く気がつく所」がモテる秘訣なんですよ。

解説 バントしましたよ！

アナ 失礼、四球目をバントしました！しかしピッチャー正面！ピッチャー取って着崩れを直し汗を抑えてからセカンドへ、セカンド前髪を直しブレスケアをし

解説
アナ

てからファーストへ！オールセーフ！
裏目裏目に出ました。
初回からピンチを迎えました男山工業！
男性大のセクハラ監督から「思い切って告白してこい！」とばかりに肩を叩かれ、打席に向かうは三番上柳！

解説

男山ナインがマウンドに集まります。
女性を意識するのをやめ、野球に集中しようということじゃないですか。

アナ

ええ、どう考えてもその方がいいぞ！

解説

ここで強打の上柳君ですからね。

アナ

試合再開です。打席には上柳。ピッチャー大河内、第一球を投げました。ボール！

解説

意識しないどころか女性への意識でガチガチですね。

アナ

第二球、大きく外れた、ボール！

解説

これは特定の女性を意識しています。

アナ

第三球、投げた後「亜美！」と叫んでボールスリー！

解説

もう胸がキューンとしていますね、誰かタイムを取って取り持ってやらないと。亜美と。

アナ

さすが、ショートのキャプテン吉岡が近寄っていき声をかけましたがブレスケアのお陰で息がいい匂い。

解説

この場に限っては純粋な気持ちにならないと・・

アナ

全くです、高校野球なんですから。

解説

さあノースリーから第四球、投げました。おっ！

アナ

意表についてバントですが小フライになった！キャ

ッチャーが取る、ランナーそれぞれ飛び出している！キャッチャー、優しい笑顔を作り車道側を歩いてからセカンドへ送球、セカンドランナーはクレアラシルを塗って戻れずアウト、セカンドはセカンドで第2ボタンを外しセクシアピールをしてからようやくファーストへ送球、ファーストランナーはターザンを読んでいたので元々塁から離れていなかった！セーフ！

おーっと送球を後ろへ反らした！一塁手、眉毛の手入れをしながらボールを追う！バックアップするべ

きライトは携帯で明日夜のレストランを予約してるのでなんにもしてくれない！しかし一塁ランナー今だターザンを読み耽り塁を離れない！
結局ツーアウト一塁！

なんだこりゃ！

動きがあるたび女性に夢中なのがあらわになるだけですわね。

私たちだけでも女性を度外視した放送を。

そうですね。

一塁にランナーを残し、打席に四番の主砲、中原を迎えます！

高校通算八人ですからねえ、女性の数は。

高校生離れています。

音楽のおばちゃん先生とも関係しています。

怪物です。

スカウトが来ています、あそこに。歌舞伎町のホストクラブから。

さあ、そんな四番の中原に対し、ピッチャー大河内、第一球を投げました！

カキン音。

解説

打ちました！がファールです。振り遅れていますね。テイクバックの後、一瞬必ず女性の裸を想像してから振りに行くので、どうしてもワンテンポ遅れるんですわね。

アナ

そんなことで打てるんでしょうか、心配！

第二球、投げました・・打った！いい当たりだ！

左中間を・・抜けたあっ！打った中原、走る走る！

モテそう！これはモテそう！一塁を回ってモテそうモテそうモテそう！

（大きく頷いている）

ライト、センター共に女性を意識しながら追うがポ

ールは転々、その間に一塁ランナー矢野がモテそ

う！

解説

（被って小さめの声）よしっモテる！

アナ

解説

アナ 二塁から三塁を回ってモテてモテて今ホームイン！
 売った中原も二塁を回るモテる回るモテる！三塁を
 回ってモテそうか？モテそうだ！

アナ 解説 (被って小さめの声) モテるモテる・・
 モテるモテる！結婚出来る！レフトからバックホー
 ム！中原、汚れを気にして滑り込めないか！？いや
 ヘッドスライディング！そうかワイルドな魅力の方
 を狙った！

解説 え？アウトですか？

アナ 主審の判定はアウト！タイミングはセーフでしたが。

解説 これはいけない・・

アナ 両軍ベンチから選手が飛び出して来ました！乱闘で
 す！高校野球なのに！しかも一回表なのに！女子が
 見ている手前、みんないやに本気だ！

解説 説明がありますよ。

主審 (マイク声) ただ今のプレーについて御説明します。

アナ ホームに滑り込んだ中原君が、セーフではないかと
 という抗議がありました。が外野席の私の妻に「色目を
 使っていた」のでアウトにします！

アナ 納得だ！

暗転。

守護ミス

月が射し込む部屋。浴衣作家が文机（急須と湯飲みで執筆中（終始、何も目に入らないかのように黙々と書く）。
舞台奥の照明に守護霊的なエディが浮かび上がる。

エディ

（作家の背後で止まり、妖しく話し出す）

俺はいつもお前のそばにいる。

そばにいて、守っているのだ。

思い出せ。

（窓から見上げ）こんな月夜の晩だった・・

いつかのこんな月夜の晩に、お前は苦勞を共にした
若き女房に出て行けと命じた。（呆れ）酒に酔ったお
私はお前の将来を考え、靈魂の力を用いてお前の心
を変え、彼女を引き止めさせた（恩着せがましい）。
それが今、お前の脅威となった鬼嫁だ。

（短い間）年々謝るのが上手くなる。

（遠くを妖しく見ている）

俺はいつもお前のそばにいる。

そばにいて災難を未然に防いでいるのだ。

（窓から見上げ）こんな月夜の晩だった・・

いつかのこんな月夜の晩に、お前は息子を捨てよう
とした。（呆れ）生活苦を理由に息子を捨てることを
決めたのだ。

私はお前の将来を考え、靈魂の力を用いてお前の心
を変え、息子を育てさせた。

立派に成長した息子の放蕩ぶりです、確実に生活苦。

（短い間）一人暮らしを薦めてみたら。

手元明かりが消える。叩いて直す作家。案外近くにいるエディ。

エディ

俺はお前のそばにいて、人の道から外れないよう見
守っている。

（窓から見上げ）こんな月夜の晩だった・・

お前は仕事もせず競馬に手を出し、随分な大金をつ
ぎ込もうとしたのだ。

私はお前のことを考え、全ての霊力を用いてやめさせた。

あれ、万馬券だったな。ごめん。

俺はお前のそばにいる。

こんな月夜の晩だった。

お前は神社の階段から足を踏み外し、百段以上ある高さから転がり落ちそうになった！

私は咄嗟に、葉が茂った弾力性のある木の枝をお前の倒れる先に差し出したら刺さるんだもの！

痛かった？

この前「月夜が嫌いだ」と叫んでいたが本当？

・それでも俺はお前のそばにいる。

これも月夜の晩だった。

俺はお前の寝顔一杯に落書きをした。

本気で怒るなって。

だから守護霊は嫌いだ！って名指しするなって。

作家、眠気覚ましに顔でも洗いに退場。

エディ

いつぞや、月夜じゃなかったが、お前は自分が書いた原稿を或る出版社に持ち込もうとした。一人の労働者の生き方を描いた小説、タイトルは『尊厳』。固すぎる。そう思った私は、全ての霊力を用いて、タイトルの『尊厳』はそのままに内容を「女子高生が魔法でアイドルになる」話に変えておいた。売れてしまった。爆発的に。売れたはいいが「魔法の女子高生もの」というイメージがつきまとい、お前は二度と社会派作家に戻れなかった。挿絵が少しエロかった（少し嬉しそう）。

作家、戻って来て座る。ねじり鉢巻。

エディ

そう。なんとというか今のお前の状態は俺の責任だ。責めてもの償いに、全ての霊力を用いて、お前の秘められた力を発揮させる神秘の歌を歌わせて頂く。

（精神統一）♪箱根のやっまは〜

作家
エディ

うるさい。お父さん。

(一本取られた、という照れ顔)

暗転。

聖戦

波音、洋上の戦艦。手前に砲台（十椅子）が3つ横に並ぶ。奥の高くなった司令台（十椅子）に隊長。

隊長（座り手紙を書いている、録音） 佐智子。今マレーシア沖だ。基地を出港して十時間が経過した。敵機の襲来も無く、レーダーの反応も無いが、夕闇が迫るこの時刻は船員たちに特有の緊張を強いているようだ。

艦上に隊員1、2、3が現れ、座る。手紙を書く準備など。

隊長（録音） だが佐智子、我らが誇る戦艦ビゼンは万全の状態だ。厳しい戦いになりそうだが、隊長としての任務を果たして日本に帰り、お前の料理を食したいと願っている。

最後に佐智子。親父やお袋をよろしく。家族仲良く、体に気をつけて暮らしてくれ。

隊員1（手紙を書く、録音） 今マレーシア沖です。

基地を出港し十時間になります。来たるべき洋上の決戦を前に束の間の貴重な静けさです。こんな静かな夕暮れには君のことを思い出してしまいます。佐智子。

隊長より一週間程日本に帰るのが早くなりそうです。二人で日光の温泉に行くことを楽しみにしています。隊員2（手紙を書く、録音） マレーシア沖です。

基地を出港して十時間が立ちました。

アメリカは正直恐ろしい。僕を守って下さい、佐智子さん。なんとか無事日本に帰ることが出来たなら、また活動写真に行きましょう。

隊員3（手紙を書く、録音） 佐智子を出港して二十時間になる。そう佐智子は港、俺は船。ブオ〜〜（汽笛のつもり）。またスリリングな逢瀬を楽しみましょう。

隊員1 2 3（手紙をしまう）

（指令台を見上げ）隊長。

隊長（手紙を書いていた手を止める）

隊員 1 このままシンガポールを目指しますか？
 隊長 ああ。

隊員 2 (準備しながら) 攻撃準備は出来ています。

隊員 3 (隊長を見上げ) いつでも隊長の指揮の下、戦える状態です！

隊長 (手紙をしまう) わかった。

隊員 3 (隊員 1 2 に) な。

隊長 ああ／もちろん

・・(真剣に) これから我々が迎えるであろう戦いは熾烈を極めるはずだ。

隊員 1 2 3 はいっ (隊員たちは全指令に忠実に従う熱血バカ) かつて無い激戦に心が揺れることもあるだろう。

隊員 1 2 3 そんなことは／大丈夫です！

隊長 私は戦いに専念せんがため、国に残して来た愛する者のことを忘れろとは言わない。

隊員 1 2 3

隊長 それぞれが愛する者と共に戦い、共に勝利を目指す

精神こそ重要かつ本来の姿だと考える。

隊員 1 2 3 はいっ

隊長 (遠くを見て) 愛は尊い・・

隊員 1 2 3 (同じ方向を見て) はいー

隊長 (間) 茜雲が群青の夜空を迎えんとしている。

隊員 1 2 3 迎えんー・・

隊長 (空の彼方に影を発見) む？

隊員 1 (影に気づいてないが隊長を見上げ) 隊長？

警報。リーダー室から隊員 4 が叫ぶ。

隊員 4 十三時の方向に敵機襲来！

隊長 戦闘配置につけ！

隊員 1 2 3 (「来やがった」などざわめきながら配置に急ぐ)

隊長 これより当艦は第一種戦闘態勢に入る！

隊員 1 2 3 はいっ

隊長 共に戦う存在を胸に、責務を果たすのだ！

隊員 1 2 3 はいっ

微かに敵機の飛行音（複数）。

隊長 （眩く）佐智子。見ていてくれ。

隊員1 砲撃準備完了。

隊員2 3 完了。

隊員2 （隊長を見上げ）撃ってきます！

敵機の銃撃音。隊長たち伏せる。

隊長 撃て！

隊員1 見えて佐智子！（発射音）

隊員3 見えて佐智子！（発射音）

隊員2 （手間取っている）

隊長 何をしている真田！

隊員2 ちよっと

敵機の飛行音近づく。

隊長 急げ！撃て！

隊員2 はい！見えて佐智子さん！（発射音）

敵機に命中、爆破音。

隊員1 （敵機が落下する音の中）やった！いいぞ真田！

隊長 （微妙な間）気を抜くな、次の攻撃に備えろ！

隊員1 2 3 （準備）

隊長 （眩く）佐智子、見守っていてくれ。

隊員1 2 3 攻撃準備完了。

敵機の飛行音。

隊長 攻撃開始！

隊員1 励まして佐智子！（発射音）

隊員3 慰めて佐智子！（発射音）

隊員2 （手間取りながら）佐智子さん・佐智子さん・

佐智子さん

隊長 何をしている真田！
 隊員2 撃ちますよ佐智子さーん！（発射音）

隊員2の砲弾はまた命中、爆破音。

隊員13 よし／でかした真田

隊長 （自らを鎮める間の後）集合！

隊員123 （機敏に集合）

隊長 迅速な対応だった。

隊員123 はいっ

隊長 ただ、お前ら撃つ前に「佐智子」と、しかも本庄と

黒川は呼び捨てで

隊員123 言いましたっ！（潔い熱血）

隊長 （自重）ま、まあ隊長の妻に対して敬意を払って

るというのであればいい。

隊員1 敬意を払っております！

敵機の飛行音。

隊員3 敵機襲来！

隊長 配置に付け！

隊員123 （配置に付く）

隊長 必ずや勝利して帰るのだ！佐智子、愛している。

撃て！

隊員1 佐智子愛してる！（発射音）

隊員3 俺も！（発射音）

隊員2 私も！（発射音）

隊長 ・ ・ ・

隊員123 （口々に）畜生／外したか

隊長 集合！

隊員123 （機敏に集合）

隊長 惜しかった。

隊員123 はいっ

隊長 だがそれはそれ、幾分気になったのは、発射の際に

私の妻に対する感情を

隊員1 敵が怖くてつい

隊員2 佐智子さんの御名前を
 隊長 (自重) まあ、妻を慕う心が勇気を奮い立たせてくれるのであれば

敵機の飛行音。

隊員3 敵機襲来！

隊長 配置に付け！

隊員1 2 3 (配置に付く)

隊長 撃て！

隊員1 打ち抜いてやる！

隊長 そうだ！

隊員1 (発射音) 佐智子のハートを。

隊長 (鋭く隊員1を見る)

隊員3 落としてやる！

隊長 (隊員3を見ている)

隊員3 (発射音) 佐智子を。

隊長 攻撃もたけなわではありませんが

隊員2 口づけてやる！

隊長 (隊員2を見据える)

隊員2 (発射音) アメリカ兵の頬に。

隊長 集合！

隊員1 2 3 (機敏に集合)

隊長 (隊員2に近づき) ごまかしたな。

隊員2 あっ！

隊長 お前ら私の妻と・・・その・・・

隊員1 3 (口々に) なんでしよう？／おっしゃって下さい！

隊長 (自重)・・・好きなのか？

隊員1 2 3 はいっ！大好きっ！(純真だ)

隊長 (純真さに押され) わかったわかった、人の道を踏み外すような行いさえ無いのであれば

敵機の飛行音。

隊員3 敵機襲来！

隊長 配置に付け！

隊員 1 2 3

(配置に付く)

隊長

佐智子、私は

隊員 1

佐智子

隊長

(小声) 先に言わせて

隊員 1

欲しいと言った着物買ったよ! (発射音)

隊員 3

ハンドバッグ買ったよ! (発射音)

隊員 2

指環受け取ってー! (発射音)

連続する爆破音。隊員たち小躍り。小声で「物で釣る」など。

隊長

集合!

隊員 1 2 3

(小躍りしながら機敏に集合)

隊長

素晴らしい命中率だ、発射する際あれだけごちゃごちゃ言っときながらタイミングが遅れないのも見事、だがお前ら・・

隊員 1 2 3

なんですか? / おっしゃって下さい / 隊長!

隊長

私の妻と、私の知らない所でその・・会ったりしていたなどという

隊員 2

敵機襲来!

隊長

まだ来ておらん!

隊員 1

(一歩前) 心配無用です。隊長。

隊員 2

隊長は戦いのことだけ考えていて下さい!

隊長

た、確かに今は戦いの事を

隊員 1

敵機です!

隊長

そう、戦いのことだけを胸に・・

隊員 1 2 3

(配置に付く)

隊長

撃て!

隊員 1

熱海良かったね佐智子! (発射音)

隊員 3

四国よかったね佐智子! (発射音)

隊員 2

札幌よかったね佐智子! (発射音)

隊長

(被るように) 日本全国に行つとるのか!

隊員 1 2 3

(機敏に集合)

隊長

津々浦々か! お前らよくもそれで

隊員 1

敵機よ来いっ

隊長

待ていっ!

隊員 4

(リーダー室から) 恐ろしい数の敵機が十四時の方

向から襲来！
 隊長 何！全員緊急配備につくんだ！
 隊員4 了解！
 隊員1 2 3 (配置に付く)
 隊員4 じゃ、忙しくなって来たから切るね、佐智子さん。
 隊長 電話してたのかねっ

敵機の飛行音。配置に付く隊員1 2 3。

隊員1 凄い数です！
 隊長 ・・信じる！ビゼンの力を信じるんだ！
 隊員1 はい！ハンカチありがとう佐智子！（発射音）
 隊長 信じる！
 隊員3 背広ありがとう佐智子！（発射音）
 隊長 しん・・
 隊員2 佐智子をありがとう！（発射音）
 隊長 お前らを信じられない

敵機の銃撃音、隊員たち伏せる。
 以下の会話は絶え間ない敵機飛行音の中で。

隊員1 2 3 わーっ
 隊長 ひるむな、攻撃を続けろ！
 隊員1 煮浸しおいしかったよ佐智子！（発射音）
 隊員2 肉じゃが最高佐智子！（発射音）
 隊員3 またカツレッツ作って佐智子！（発射音）
 隊員4 燃料庫に引火！
 隊員1 2 3 隊長！（見上げる）
 隊長 私はカツレッツなんて作ってもらってない！
 以前私の弁当に入っていたあの・・
 なんで弁当作ってもらってらんだ！
 そういったことはまた発射の際においおい
 発射の際に妻とのエピソードを小出しに言えなんて
 言っとらん！大体、人の女房を

敵機の銃撃音連射、大規模。

隊員3

一斉に撃ってきました！

隊員

攻撃しろ！攻撃するんだ！

隊員1 2 3

（手早く準備、構えて）一緒に寝よう佐智子！

隊長

（被って）攻撃禁止！

激しい銃撃音、隊員1 2 3、順に右腕、左腕、脚を撃たれ倒れる。

隊員1 2 3

（口々に）佐智子！佐智子！撫でて佐智子！

旦那と別れる佐智子！（など）

今の衝撃で

隊長 （唇噛み締め）佐智子は・・

隊員4 肘ぶつけたよ佐智子

隊長 みんなのものなのかーっ？

隊員4 燃料庫炎上・・甚大な被害です！

隊長 よし、援軍を要請しろ！

隊員4 （連絡）大塚佐智子親衛隊全員に次ぐ！

隊長 要らん！援軍は要らん！

隊員3 ええっしかし

特大敵機の飛行音。

隊長 （腰の刀を抜き前へ）私一人で

外人声（録音） SACHIKOI MY LOVE!

隊長 アメリカを斬る！

近づく飛行音、刀を振り下ろし斬鉄剣の威力を見せる隊長。

派手な爆破音、暗転して行く。

隊長 ジェラシー……！

暗転。

聖戦（音声）

米軍機爆破の後、暗く。静寂。

隊長　一ヶ月後、戦争は終わった。

音楽。隊長・隊員ら起き上がり退場していく。

私は焼け野原となった東京に帰り、戦争が終わったことを実感した。

しかし佐智子を巡る戦争は続いていた。

（口々に）佐智子さん日光／活動写真／逢瀬／弁当／重婚（など）

隊長　佐智子。お前は素晴らしい。ここまで来たらもう素晴らしい。何人もの男を癒す、まるで聖母だ。しかし聖母は妻になることはできない。

私は離婚をし、両親と一緒に長野に移り住み、地元
の訓練施設で仕事をしながら暮らすことを選んだ。
隊員たちとの音信も途絶え、共に戦った日々がすっかり夢の中の事のように感じられるようになった或る日のこと

賛美歌。

神　隊長よ。顔を上げなさい。

隊長　あなたは？

神　この姿を見てわからないのですか。

隊長　向かいの井上さんに少し似てるけど、井上友明神です。あなたの境遇を哀れんで現れた神です。

神　誰ですか向かいの井上さんって。

隊長　失礼しました。

神　あなたはかつて妻に恵まれなかった。

隊長　佐智子のこと・・・

神　そう、不義を働き、夫であるお前を裏切った。そして今お前は一人で両親と暮らしているが貧しい。貧乏だ！お前は貧乏だ！

隊長 しかし不満ではありません。

神 妻が必要なのではないか。

え？

隊長 支えてくれる妻が。よろしい、女を斡旋しよう。

神 斡旋って

隊長 不義などからは程遠い、貞淑な女性だ。

ほらこれが写真。

神々しいS.E。

隊長 きれいな方ですね。

神 東大の大学院を出て三菱化学工業の研究室で働いて

いる。結婚しても仕事は絶対に続けたいので家事育

児は一切出来ない旨了承してもらえれば

隊長 せめて家事だけでも

神 これが釣書、一度会うだけでも会ってみて

隊長 申し訳ありませんが

神 では次、この人も貞淑な方だ。これが写真。

神々しいS.E。

隊長 きれいな方ですね。

神 家族親戚が全員病気で状況的に家事以外は出来ない

隊長 苦勞の倍々ゲームです。神様、贅沢はいりませんが

別の

神 では

神々しいS.E。

神 箕面のおじさんの会社の知り合いに

隊長 (SEカットアウト) 神様の力でなんとか

神 わかりました。今までは空気をほぐすためのジョー

ク。悪く思わないように。

隣村に小沢吉江さんという、駅前のタバコ屋で働く

それはそれは貞淑で清楚な女性がいる。彼女も暮ら

し向きが苦しく、出逢いにも恵まれないまま独身な

のだが、気だても良く働き者だ。
お前との出逢いに彼女を導いてやろう。

賛美歌大きく。

隊長

そんな不思議な出来事の後、私は本当にその女性、小沢吉江さんというタバコ屋の娘さんと逢うことが出来た。

あの、神と名乗る不思議な男が言った通り、その女性には珍しいぐらいに貞淑で気だての良い人で、私の妻となるにふさわしい人だった。

明るく。隊長（スーツ）が立っている。

隊長

それではこの場を借りて御紹介させていただきます。

（袖に）私の細君、吉江です。

逆の袖から隊員たち走って登場、「吉江さん久しぶり」「あれから帰れた？」「小田原行きましょう」「大好きっ」などと口々に言いながら隊長の背後を抜け、吉江のいる袖へ。

終わり。